



町長の行政報告をお知らせします

八峰町6月議会定例会が15日から17日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

交通空白地有償運送・タクシー 今後の利用者増を期待

地域交通確保対策事業についてですが、公共交通が提供されていない、大信田、埜、横内、仲村地区の住民を対象に、八峰町社会福祉協議会が事業主体となって自家用車を使用した交通空白地有償運送サービスを4月1日から始めています。また、八峰町タクシー運行補助金を受けたタクシー事業者が、同日から、八森駅にタクシーを1台常駐させて営業しています。

いずれも、地方創生加速化交付金の対象事業で、交通空白地有償運送については、4月は7件、5月は14件の利用となつています。タクシーについては、4月からの常駐が前月に決まったこともあり、再開当初は利用者が少なかつたものの、利用者も次第に増えてきています。利用者数の増加は、利用時間の延長や移送車両の増加にも繋がり、利用者の利便性も向上することから、今後、更に利用者数が増えることを期待しています。

社会減の抑制を目指して 空き家改修・お試し移住ツアー

定住対策事業についてですが、空き家改修は本年度4棟整備することとし、既に改修予定の「空き家」の選定を終えて、入居予定者も決定しています。入居予定者は全員県外からの移住予定者であり、計4世帯9名の移住となります。

また、6月3日から5日にかけて開催した「お試し移住ツアー」には17名の応募がありました。抽選で選ばれた県外からの参加者7名が、そば打ち体験館でそば打ちや、きりたんぼづくりを体験し、その後の交流会で移住者との情報交換を行いました。また、翌日には、手這坂でかやぶき屋根の葺き替え体験と、廃材を利用したリフォーム体験を行っています。



参加者の中には、既に移住を決めている方もおり、「移住者の話を聞いて移住後の生活について実感が湧いた」などの声が聞かれ、それぞれ移住後のイメージを思い描いているようでした。10月にも「お試し移住ツアー」を開催する予定で、これらを含めた各種の移住・定住対策事業を展開しながら、今後も町人口の社会減の抑制に努めます。

平成27年度がん検診受診状況 伸び悩むも国の目標を上回る

がん検診の平成27年度受診状況がまとまりましたのでご報告します。乳がん検診の受診率は対前年比8.ポイ

ント減の51・3%、子宮がん検診は3・7ポイント減の47・2%となっています。肺がん検診の受診率は対前年比1・6ポイント減の40・6%、胃がん検診は0・8ポイント減の31・8%、大腸がん検診は0・6ポイント減の41・7%となっています。昨年度に比べ、乳がん検診の受診率の減少など、全体的に受診率は伸び悩んでいます。乳がんと子宮がんの検診受診率は国の目標受診率50%程度であり、また肺がん、大腸がんの検診受診率は国の目標受診率40%を超えています。今年度は、当初3年間としていました検診料ワンコインの500円をさらに3年間延長することや、託児や受診者の家族で見守りが必要な方がいる場合はヘルパーを派遣すること、受診を勧めるコールリコール事業は対象部位を拡大しながら継続して実施することなど、受診しやすい環境を整えて受診率の向上を図り、早期発見早期治療ができるよう努めます。

公園内が満開となった桜まつり 売上・来場者とも前年より増加

4月16日から5月8日まで、御所の台ふれあいパークで、観光協会主催の「さくらまつり」が開催されました。今年度は、心配されたウソによる被害もほとんど無く、公園内の木々が満開の花を咲かせましたが、桜の開花が例年より1週間から10日早く、5月の連休には葉桜という残念な状況でした。それでも、イベント開催日の4月23、

菌床しいたけ販売実績 平成26年度を大きく上回る

峰浜培養等菌床シイタケの生産実績について報告します。菌床しいたけの生産は、現在、個人農家と峰浜培養を含めて12経営体が栽培を進めています。平成27年度の販売実績は、数量が701トン、金額が7億4,890万円です。平成26年度に比べて、数量で約100トン、金額で1億2,000万円上回る結果となっております。主な販売先は、横浜や東京などの青果市場への出荷が約6割、大型デパートやスーパーなどへの直売が約4割の実績となっております。

ことぶき大学開講 元気に学習することを誓う

ことぶき大学について報告します。6月2日、ことぶき大学開講式を八峰町文化ホールにて開催しました。今年度の大学受講者は421名で、昨年度より21名ほど少なく、また開講式参加者は314名で、昨年より1名増えました。学習目標に「熟年者としてふさわしい技術と教養」「家庭や地域で役立つ高齢者」「心と体の健康」を掲げ、1年間元気に学習することを誓い合いました。

6月議会定例会に 提出した主な議案

専決処分事項の報告について

八峰町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例制定について

物品の取得について

人権擁護委員候補者の推薦について

平成28年度一般会計補正予算 7,812万円3千円を増額追加した主な歳出
・介護予防・生活支援拠点整備事業補助金
・産地パワーアップ事業費補助金
・岩館・八森漁港地域水産物供給基盤整備事業費負担金
・プレミアム付商品券発行事業補助金
・森林科学館改修工事費

各特別会計予算
・簡易水道事業 300万5千円を追加
・公共下水道事業 5万4千円を追加
・町営診療所 8万5千円を追加

24日は、多くの花見客とイベントを楽しむお客様が詰めかけ、今年から新たな催しとして行われた子ども園の「おゆうぎ」や、民謡サークルによる「歌や踊りの披露」、秋田のご当地アイドルグループ「プラモ」によるライブなどを存分に楽しんでいました。これらが功を奏し、2日間の売り上げで昨年比14%増。来場者も、850人多い、4,150人と多くの方々がお集まりを訪れています。



東北ジオパークフォーラム開催 今年秋には再認定審査も

八峰白神ジオパークの状況についてご報告します。平成24年9月に日本ジオパークに認定

されて以来、ジオパークを町の活性化や小中学生の学習に生かすべく、ジオサイトの整備を図りながら、ジオツアーの企画や出前授業を実施するとともに、町民の皆様からジオパークの価値を理解していただくために、毎月、広報に連載するなどしてきました。また、認定を受けた際、日本ジオパーク委員会から、深浦町との連携など、15課題が指摘されており、課題解消に向けて取り組んでいます。

本年度の事業計画では、白神ガイドの会やあきた白神体験センターと連携したジオツアーの企画などを行うこととしています。また、7月16日と17日は、当町において、東北地区のジオパーク10団体と一緒に会し、「東北ジオパークフォーラム」が1泊2日で開催されます。全体で150名程度の参加を見込んでおり、この大会の成功に向け準備を進めています。なお、今年度は、4年に一度の再認定審査が行われます。9月に現況報告書を提出し、10月か11月に現地審査が行われる予定となっています。

協議会では、ジオパーク再認定に向け、組織の充実を図りながら、15課題の解消はもちろん、地域活性化とジオパーク活動を教育や地域振興に繋げることができるよう、目的を明確にしながら活動に取り組んでいます。町としても、協議会と連携を図りながら再認定を支援したいと考えています。